

小学校・中学校の区域と児童数・生徒数・学級数の状況 (平成26年5月1日現在)

小学校区	中学校区
清水小	魚住中
錦浦小	
魚住小	魚住東中
錦が丘小	
二見小	二見中
二見北小	
二見西小	

小学校区	中学校区
谷八木小	大久保中
大久保南小	
大久保小	大久保北中
山手小	
高丘東小	高丘中
高丘西小	
江井島小	江井島中

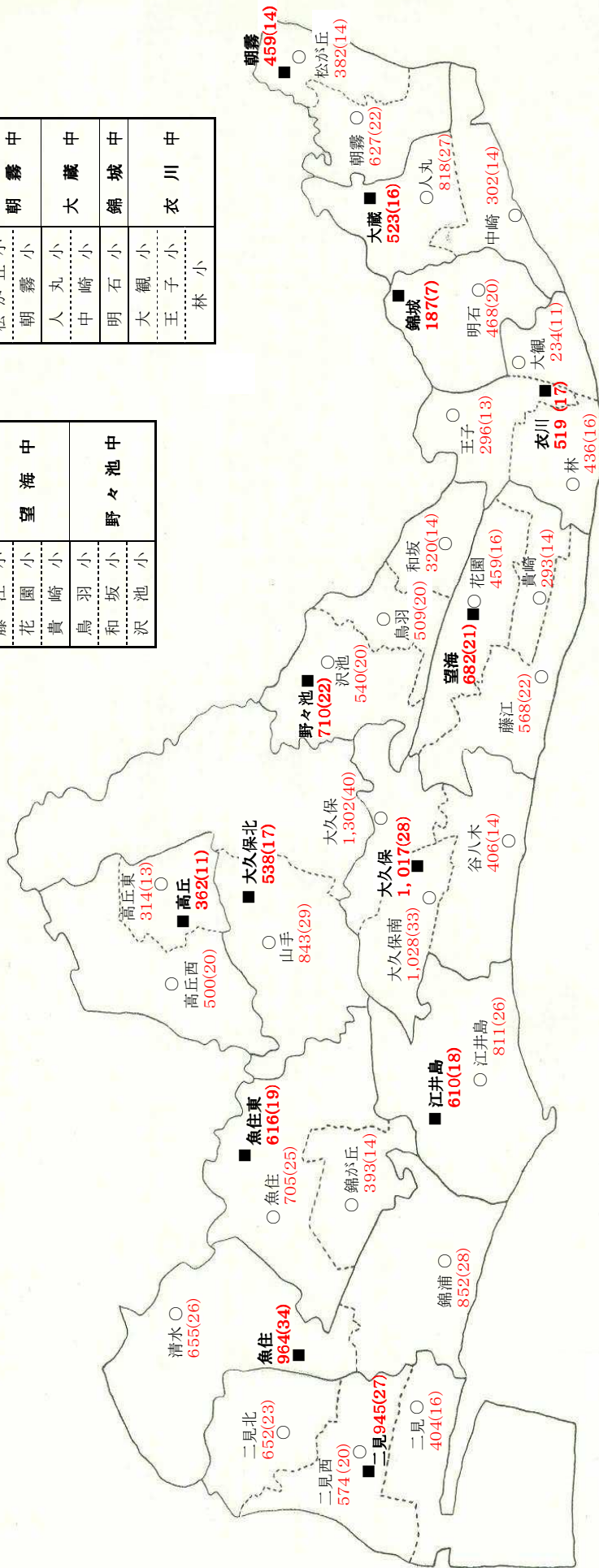
○小学校 ----- 小学校区

■中学校 ----- 中学校区

数字は児童数・生徒数 ( ) 内は学級数

小学校区	中学校区
藤江小	望海中
花園小	
貴崎小	
鳥羽小	野々池中
和坂小	
沢池小	

小学校区	中学校区
松が丘小	朝霧中
朝霧小	
人丸小	大蔵中
中崎小	
明石小	錦城中
大槻小	
王子小	衣川中
林小	



平成26年5月1日現在

## 小学校区の面積・人口等と児童数・学級数等の状況

小学校名	面積(k㎡)	世帯数	人口	児童数	学級数	うち特別支 援学級数	保有教室数	通学距離 (km)	創立年月	備考
松が丘 朝霧	1.011 1.205	4,814 5,006	9,629 11,664	382 627	14 22	(2) (2)	28 28	1.69 1.97	S 42.9 S 45.9	
人丸	1.591	6,234	14,615	818	27	(2)	35	1.40	M 34.2	
中崎	0.889	3,313	6,753	302	14	(2)	17	1.50	S 56.4	
明石	1.626	4,705	9,803	468	20	(4)	24	1.44	M 20.4	
大観	0.665	3,213	6,655	234	11	(1)	17	1.44	M 42.4	
王子 林	1.277 1.086	3,541 4,403	7,043 9,799	296 436	13 16	(2) (2)	24 23	1.30 1.02	S 13.9 M 33.3	
藤江	1.833	6,804	14,695	568	22	(3)	32	2.40	S 14.4	
花園	1.353	4,608	9,886	459	16	(2)	29	1.38	S 25.4	
貴崎	0.627	3,020	6,379	293	14	(2)	23	1.34	S 41.4	
鳥羽	0.528	5,161	10,621	509	20	(2)	30	0.94	M 24.3	
和坂	0.576	3,730	7,959	320	14	(2)	19	0.86	S 59.4	
沢池	1.895	4,031	9,532	540	20	(2)	26	1.10	S 55.4	
谷八木	1.894	4,060	9,684	406	14	(1)	20	1.88	S 26.4	
大久保南	1.095	4,231	11,594	1,028	33	(2)	39	1.60	H 11.4	
大久保	4.939	6,774	16,595	1,302	40	(2)	42	2.16	M 20.4	
山手	2.498	5,668	13,945	843	29	(3)	31	1.62	S 28.4	
高丘東	1.080	2,980	6,562	314	13	(1)	29	0.86	S 50.9	
高丘西	2.377	3,972	8,953	500	20	(2)	29	1.50	S 51.4	
江井島	3.208	6,377	15,842	811	26	(2)	40	1.98	M 25.6	
魚住	3.062	5,305	12,670	705	25	(3)	31	2.10	M 24.6	
錦が丘	1.162	3,862	8,357	393	14	(2)	25	0.90	S 49.4	
清水	3.519	5,383	12,604	655	26	(6)	31	2.06	S 55.4	特別支援学級6のうち、明石学園1・清水が丘学園2
錦浦	2.284	6,587	15,322	852	28	(3)	36	1.58	M 24.6	
二見	2.915	3,515	8,199	404	16	(2)	27	1.70	M 37.6	
二見北	1.334	4,934	12,224	652	23	(2)	35	1.04	S 46.4	
二見西	1.716	4,101	9,491	574	20	(2)	23	1.60	H 10.4	
合計	49.25	130,332	297,075	15,691	570	(63)	793			

平成26年5月1日現在

## 中学校区の面積・人口等と生徒数・学級数等の状況

中学校名	面積(km <sup>2</sup> )	世帯数	人口	生徒数	学級数	うち特別支援学級数	保有教室数	通学距離(km)	創立年月	備考
朝霧	2.216	9,820	21,293	459	14	(2)	32	1.96	S 45.4	
大蔵	2.480	9,547	21,368	523	16	(2)	24	2.78	S 22.4	
錦城	1.626	4,705	9,803	187	7	(1)	10	1.88	S 22.4	
衣川	3.028	11,157	23,497	519	17	(2)	32	1.54	S 22.4	
望海	3.813	14,432	30,960	682	21	(2)	31	2.44	S 22.4	
野々池	2.999	12,922	28,112	710	22	(2)	27	3.00	S 52.4	
大久保	4.168	12,013	30,253	1,017	28	(2)	30	2.50	S 22.4	
大久保北	6.258	8,720	21,565	538	17	(2)	22	2.28	S 62.4	
高丘	3.457	6,952	15,515	362	11	(1)	24	1.96	S 50.9	
江井島	3.208	6,377	15,842	610	18	(1)	21	2.30	S 54.4	
魚住	5.803	11,970	27,926	964	34	(11)	29	3.08	S 22.4	特別支援学級 1 1 のうち、明石学園 3・清水が丘学園 5
魚住東	4.224	9,167	21,027	616	19	(2)	27	2.20	S 57.4	
二見	5.965	12,550	29,914	945	27	(2)	36	2.28	S 22.4	
合計	49.25	130,332	297,075	8,132	251	(32)	345			

※ 世帯数・人口は住民基本台帳による

※ 学級数は特別支援学級を含む

※ 通学距離は校区内での最遠の距離

## 小学校の年度別児童数・学級数の推移（平成27年度以降は推計値）

各年度5月1日現在、特別支援学級を除く。

小学校名	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	児童数	C/R	児童数	C/R	児童数	C/R	児童数	C/R	児童数	C/R	児童数	C/R	児童数	C/R	児童数	C/R	児童数	C/R	児童数	C/R	児童数	C/R
明石	438	15	446	16	444	15	458	15	452	16	462	16	482	16	481	16	491	16	506	16	501	17
松が丘	396	12	391	12	377	12	376	12	374	12	363	12	359	12	349	12	356	12	356	12	349	12
朝霧	568	19	582	19	598	19	612	19	622	20	625	21	647	22	649	22	684	22	679	21	643	20
人丸	830	25	802	24	782	23	775	24	812	25	786	25	776	25	757	25	756	24	725	22	671	20
中崎	313	12	302	12	302	12	294	12	297	12	294	12	300	12	298	12	295	12	293	12	295	12
大観	290	12	270	12	257	11	226	10	232	10	227	9	222	8	216	8	204	8	227	9	224	9
王子	313	12	302	12	291	12	292	12	290	11	285	12	289	11	281	11	293	12	310	12	303	12
林	456	15	456	16	441	15	436	14	422	14	432	14	453	15	455	16	477	17	483	17	481	17
鳥羽	530	18	528	18	508	18	517	18	503	18	514	18	516	17	526	17	538	17	531	17	577	19
和坂	314	13	316	11	328	12	311	12	315	12	323	12	329	12	327	12	319	12	333	12	331	12
沢池	619	20	620	20	590	18	563	18	531	18	515	18	520	18	535	18	554	18	591	19	609	20
藤江	610	19	580	19	551	18	556	18	558	19	558	19	570	19	599	19	608	19	613	20	649	21
花園	439	16	445	16	438	15	446	15	453	14	462	15	483	16	518	17	552	18	583	19	627	20
貴崎	324	12	301	12	303	12	300	12	286	12	272	11	277	11	280	12	276	12	274	12	265	11
大久保	1,017	31	1,079	34	1,149	35	1,203	36	1,290	38	1,330	39	1,387	41	1,412	43	1,409	43	1,455	44	1,455	44
大久保南	1,153	35	1,127	35	1,104	33	1,045	31	1,019	31	971	31	911	29	843	26	776	24	732	23	663	22
高丘東	343	12	330	12	340	12	333	12	311	12	306	12	287	12	280	12	271	12	244	11	235	9
高丘西	439	15	452	15	465	16	481	17	494	18	484	18	488	17	474	16	483	16	455	14	451	15
山手	720	23	725	23	746	22	766	24	829	26	836	26	847	26	887	27	925	28	929	29	932	29
谷八木	420	15	407	15	395	13	403	13	401	13	404	14	406	15	414	16	433	16	456	16	458	17
江井島	1,148	34	1,045	31	946	29	886	27	802	24	767	24	723	23	713	23	720	24	730	24	718	23
魚住	836	24	794	24	739	24	713	23	688	22	685	21	676	22	676	22	681	22	673	23	673	23
清水	759	24	702	23	673	22	662	22	629	20	613	19	594	19	618	19	632	20	624	20	624	20
錦が丘	446	16	421	14	417	14	393	13	390	12	397	12	382	12	385	12	375	12	392	12	374	12
錦浦	965	29	974	30	916	29	872	27	837	25	832	26	805	25	800	25	807	26	806	25	792	25
二見	511	17	509	17	453	16	423	14	399	14	378	12	375	12	352	12	343	12	340	12	345	12
二見北	905	28	811	25	762	24	714	23	640	21	582	20	552	19	547	18	542	17	525	17	533	18
二見西	571	18	558	17	573	18	545	18	563	18	564	18	568	18	574	18	580	18	569	18	559	18
合計	16,673	541	16,275	534	15,888	519	15,601	511	15,439	507	15,267	506	15,224	504	15,246	506	15,380	509	15,434	508	15,337	509

中学校の年度別生徒数・学級数の推移（平成27年度以降は推計値） 各年度5月1日現在

中学校名	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	生徒数	CR	生徒数	CR	生徒数	CR	生徒数	CR	生徒数	CR	生徒数	CR	生徒数	CR	生徒数	CR	生徒数	CR	生徒数	CR	生徒数	CR
朝霧	492	16	480	15	458	14	459	14	459	14	489	15	486	15	490	16	457	15	465	15	463	14
大蔵	540	17	547	17	563	17	523	16	523	16	511	16	504	16	522	17	511	17	517	17	518	17
錦城	198	8	198	8	198	8	187	7	187	7	188	7	197	7	198	7	201	7	202	7	205	7
衣川	547	17	549	17	536	17	519	17	519	17	512	17	473	16	462	15	437	14	458	14	462	14
望海	733	22	738	22	752	23	682	21	682	21	649	20	635	19	613	18	601	18	636	19	658	20
野々池	730	21	710	21	688	21	710	22	710	22	708	22	686	21	663	20	661	20	668	20	665	20
大久保	963	27	1,005	29	1,044	30	1,017	28	1,017	28	1,018	28	1,045	29	1,022	29	1,019	29	993	28	994	28
大久保北	501	16	522	17	524	17	538	17	538	17	559	17	582	18	615	19	637	20	636	20	679	21
高丘	394	14	403	13	384	12	362	11	362	11	376	12	375	12	393	13	387	12	389	12	369	11
江井島	568	17	608	18	624	18	610	18	610	18	556	16	521	15	441	13	399	12	362	11	358	11
魚住	984	32	962	30	972	33	964	34	964	34	926	33	909	33	833	31	796	30	766	29	767	29
魚住東	681	19	691	20	668	20	616	19	616	19	596	18	574	17	543	17	526	17	505	17	512	17
二見	1,060	30	1,029	29	983	28	945	27	945	27	931	27	870	25	818	23	761	22	744	22	729	22
合計	8,391	256	8,442	256	8,394	258	8,132	251	8,132	251	8,019	248	7,857	243	7,613	238	7,393	233	7,341	231	7,379	231

## 小規模、大規模のメリット・デメリット

### 小規模校(小規模化)

	メリット	デメリット
学 習 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。</li> <li>● 学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。</li> <li>● 1学年1学級の場合、ともに努力してよりよい集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい。</li> <li>● 運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。</li> <li>● 中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。</li> <li>● 児童・生徒数、教職員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態をとりにくい。</li> <li>● 部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。</li> </ul>
生 活 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい。</li> <li>● 異学年間の縦の交流が生まれやすい。</li> <li>● 児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● クラス替えが困難なことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。</li> <li>● 集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある。</li> <li>● 切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい。</li> <li>● 組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい。</li> </ul>
学校運営面 財 政 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。</li> <li>● 学校が一体となって活動しやすい。</li> <li>● 施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教職員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置を行いにくい。</li> <li>● 学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いにくい。</li> <li>● 一人に複数の校務分掌が集中しやすい。</li> <li>● 教員の出張、研修等の調整が難しくなりやすい。</li> <li>● 子ども一人あたりにかかる経費が大きくなりやすい。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保護者や地域社会との連携が図りやすい。</li> <li>● 災害発生等による緊急避難時に混雑が生じにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● P T A活動等における保護者一人あたりの負担が大きくなりやすい。</li> </ul>

## 大規模校(大規模化)

	メリット	デメリット
学習面	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力をさらに伸ばしやすい。</li> <li>● 運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい。</li> <li>● 中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しやすい。</li> <li>● 児童・生徒数、教職員数がある程度多いため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態をとりやすい。</li> <li>● 様々な種類の部活動等の設置が可能となり、選択の幅が広がりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全教職員による各児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい。</li> <li>● 学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しにくい。</li> </ul>
生活面	<ul style="list-style-type: none"> <li>● クラス替えがしやすいことなどから、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすい。</li> <li>● 切磋琢磨すること等を通じて、社会性や協調性、たくましさ等を育みやすい。</li> <li>● 学校全体での組織的な指導体制が組みやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学年内・異学年間の交流が不十分になりやすい。</li> <li>● 全教職員による各児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい。</li> </ul>
学校運営面 財政面	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教職員数がある程度多いため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた教職員配置を行いやすい。</li> <li>● 学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いやすい。</li> <li>● 校務分掌を組織的に行いやすい。</li> <li>● 出張、研修等に参加しやすい。</li> <li>● 子ども一人あたりにかかる経費が小さくなりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教職員相互の連絡調整が図りづらい。</li> <li>● 特別教室や体育館等の施設・設備の利用の面から、学校活動に一定の制約が生じる場合がある。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PTA活動等において、役割分担により、保護者の負担を分散しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい。</li> <li>● 災害発生等による緊急避難時に、混雑が生じやすい。</li> </ul>

## 小・中学校の適正規模等に関する基準について

《基準を策定するにあたって検討すべき項目（案）》

### 1. 基本的な考え方

「小・中学校の適正規模等にかかる基準（以下「基準」という。）」を定める目的や趣旨。

#### 【明石市校区のあり方についての調査・研究について】（P1）

##### 1. 調査・研究の目的

我が国や地方公共団体を取り巻く社会情勢として、人口減少社会への転換や少子高齢化の一層の進行が見られる中、本市の校区について望ましい将来のあり方に関する調査・研究を行うことを目的とする。

### 2. 基準項目

小・中学校における望ましい教育環境として、基準に定めるべき項目。

- (1) 学校規模
- (2) 通学区域・距離
- (3) その他

#### 【明石市校区のあり方についての調査・研究について】（P3）

##### ◆明石市の適正学校規模の方向性

小学校、中学校ともに「12学級～24学級」

小学校 12学級～24学級

○1学年あたり学級数 2～4学級

○児童数計：440名～880名

\*1～4年生35名/学級、5・6年生40名/学級

中学校 12学級～24学級

○1学年あたり学級数 4～8学級

○生徒数計：480名～960名

\*40名/学級



### 3. 適正化方策

小規模校や過大規模校について、規模の適正化を図るための方策等。

#### 【明石市校区のあり方についての調査・研究について】(P3)

##### ◆適正化を図るために必要な施策

○小規模校、過小規模校の学校規模の適正化に必要な施策の方向性としては、①通学区域の変更を進める。そのうえで、②調整区域の設置を検討する。調整区域の設置によっても小規模化の傾向が進む場合、③学校の統廃合を進める。

○また、現況ではなじまないが、他自治体では行われている施策として、「学校選択制」、「施設一体型の小中一貫校」、「小規模特認校制度」などがあり、保護者のニーズや学校関係者の協力体制などを勘案しつつ、今後の動向に合わせて検討を進めることも視野に入れる。

### 4. 適正化の判断基準

適正化に取り組む判断をする分岐点（ポイント）となる指標。

#### 【明石市校区のあり方についての調査・研究について】(P3)

##### ◆適正化を検討する基準

○学年単学級が小学校では1～2学年、中学校では1学年となり、地域・保護者等の要望がある場合、対策を検討する。

○全学年で学年単学級が半数以上となる場合、今後の児童生徒数の推移をみながら早期に対策を検討する。

○全学年で学年単学級となり、継続が予測される場合、早急に対策を検討する。

### 5. 適正化にかかる留意事項

教育環境や保護者・地域との関係など、適正化を進める上で留意すべき事項。

#### 【明石市校区のあり方についての調査・研究について】(P3)

##### ◆適正化にかかる留意事項

○各学校の現状や国県の動向を見極めながら、将来的な見通しについて随時検討を要する。

○各地域の個別の課題に応じ、保護者や地域住民の理解を得ながら、計画的に適正化を図ることが重要である。

### 6. その他

その他基準に定める事項。

- (1) 基準の推進、公表及び見直しの考え方
- (2) 適正化対象校の個別計画など